

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2021-3255(P2021-3255A)

【公開日】令和3年1月14日(2021.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2021-002

【出願番号】特願2019-117991(P2019-117991)

【国際特許分類】

A 47 J 27/00 (2006.01)

【F I】

A 47 J 27/00 103 E

A 47 J 27/00 103 G

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月7日(2021.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上面を開口した内釜収納部を有する本体部と、

前記内釜収納部に着脱自在に装着された内釜と、

前記本体部の上面開口を開閉可能に覆う蓋体と、を備え、

前記蓋体には、前記内釜内の蒸気を外部へ排出させる蒸気口が外面に形成され、前記蒸気口と前記内釜の内部とを連通する中空構造の蒸気排出部が設けられており、

前記蒸気排出部には、保湿弁体が設けられ、前記保湿弁体と前記蒸気口との間に、内部に溜まった水滴が外部へ排出されることを抑制する第1空間部が形成され、

前記保湿弁体は、前記蒸気排出部の開口面の内側壁面に対して空隙を持つように弁体部を形成したことを特徴とする、炊飯器。

【請求項2】

前記蓋体は、前記蒸気排出部が取り付けられる外蓋と、

前記外蓋に着脱自在に取り付けられ、前記蓋体で前記本体部の上面開口を閉じた際に、前記内釜の上部開口を閉塞する内蓋と、を備え、

前記内蓋は、前記外蓋に取り付けられる第1内蓋と、前記本体部の上面開口に対向させて前記第1内蓋に取り付けられ、前記第1内蓋との間に空間部を形成する第2内蓋と、を有し、

前記第2内蓋には、前記内釜内の蒸気を前記第1空間部へ導入する蒸気導入穴が形成され、

前記第1内蓋には、前記第1空間部に導入した蒸気を前記蒸気排出部へ排出させる蒸気排出穴が形成されている、請求項1に記載の炊飯器。

【請求項3】

前記蒸気排出部には、前記保湿弁体と前記内釜との間に第2空間部が形成されている、請求項1～2のいずれか一項に記載の炊飯器。

【請求項4】

前記蒸気排出部は、前記保湿弁体と前記蒸気口との間に前記第1空間部を形成する筒状の第1蒸気排出部材と、

前記保湿弁体と前記内釜との間に前記第2空間部を形成する筒状の第2蒸気排出部材と

、を有し、

前記保湿弁体は、前記第1蒸気排出部材と前記第2蒸気排出部材との間に配置されている、請求項3に記載の炊飯器。

【請求項5】

前記保湿弁体は、

前記第1蒸気排出部材と前記第2蒸気排出部材とに挟持される支持部と、

前記支持部に回動自在に支持され、蒸気圧の高まりに応じて開閉する弁体部と、を有し

、前記第2蒸気排出部材の開口面の内側壁面は、前記弁体部に対して空隙を持つように形成したことを特徴とする、請求項4に記載の炊飯器。

【請求項6】

前記保湿弁体は、前記支持部が前記本体部の前面側に位置するように、前記第1蒸気排出部材と前記第2蒸気排出部材との間に配置されている、請求項5に記載の炊飯器。

【請求項7】

前記弁体部は、前記第2蒸気排出部材の開口面と相似形状である、請求項4～6のいずれか一項に記載の炊飯器。

【請求項8】

前記第1空間部を形成する前記蒸気排出部には、前記蒸気排出部の内部に溜まった水滴を前記蒸気口の手前で堰き止めるリブが形成されている、請求項1～7のいずれか一項に記載の炊飯器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る炊飯器は、上面を開口した内釜収納部を有する本体部と、前記内釜収納部に着脱自在に装着された内釜と、前記本体部の上面開口を開閉可能に覆う蓋体と、を備え、前記蓋体には、前記内釜内の蒸気を外部へ排出させる蒸気口が外面に形成され、前記蒸気口と前記内釜の内部とを連通する中空構造の蒸気排出部が設けられており、前記蒸気排出部には、蒸気圧の高まりに応じて開閉する保湿弁体が設けられ、前記保湿弁体と前記蒸気口との間に、内部に溜まった水滴が外部へ排出されることを抑制する第1空間部が形成され、前記保湿弁体は、前記蒸気排出部の開口面の内側壁面に対して空隙を持つように弁体部を形成したことを特徴とする。